

令和元年度第2回高幡地域アクションプランフォローアップ会議 議事概要

日時：令和2年2月18日（火）13:30～16:00

場所：中土佐町民交流会館 1階ホール

出席：委員20名中、15名が出席（代理出席1名含む）

議事：（1）第4期高知県産業振興計画の全体像（案）等について

（2）第4期高知県産業振興計画における高幡地域アクションプラン（案）について

（3）産業成長戦略について

1）移住促進の取り組みについて

2）観光振興の取り組みについて

議事（1）（2）（3）について、県から説明し、意見交換を行った。（主な意見は下記のとおり）
議事については、すべて了承された。

※意見交換概要（以下、意見交換部分は常体で記載）

（1）第4期高知県産業振興計画の全体像（案）等について

意見交換等、特になし。

（2）第4期高知県産業振興計画における高幡地域アクションプラン（案）について

（玉川委員）

中山間地域の飲食店等は土日が休みであることが多く、せっかく訪れてくれた観光客の滞留時間が短くなっており、リピーターをとりこぼすのではないかと心配している。交流人口を増やしたいのであれば、定休日の見直し等の改善策を検討する必要がある。

（森田地域産業振興監）

四万十町の「押しメン（麺）」や梶原町の集落活動センター「ゆすはら東」によるレストラン運営など、現在でも観光客に対する食事の提供の取り組みはあるので、今後も地域の方々と連携して、可能な限り県の施策で支援していく。

（武田委員）

四万十町は食に力を入れており、「四万十ポークどんぶり街道」に続いて、四万十町のラーメンを紹介する「押しメン（麺）」の取り組みを始めた。日曜日に来客が減少することから定休日としがちではあるが、一方店を開けることで新たな来客につながることもある。今はまず開けてみるという考えで取り組んでいる。

（長山委員）

観光客の誘客施策を企画するには旅行会社など、ノウハウがある相手と連携する必要があると考えている。現在も台湾からのサイクリング客の受け入れの話を進めているが、このような具体的な取り組みを重ねていくことで受け入れ態勢の整備やノウハウの蓄積を進めていきたい。

（田中委員）

実際の観光客は、例えば前日に四国カルストに行って一泊し、翌日に中土佐町でカツオを食されるなど、複数の観光地を周遊するため地域を面で捉えている。こうした複数の魅力をひと

まとめにして磨き上げたうえでセールスするという取り組みが弱いのではないか。

県が主導し、各市町が連携することでうまくセールスができる場を作ってほしい。

(森田地域産業振興監)

地域全体の観光振興を進めていくためには、高幡5市町で構成される奥四万十観光協議会が中心となって議論していくことが重要。各市町の観光協会や県観光コンベンション協会とも役割分担をしながら、取り組みを進めていただければと思う。

(観光政策課 奥田企画監)

県としても、高知で体験も食も宿泊もしていただき、滞在時間を延ばして地域にお金を落としてもらえるような滞在型観光の取り組みを進めていく。

観光客は市町村の圏域を超えて移動するため、第4期産業振興計画では市町村の圏域を越えた広域の観光クラスターづくりに一層取り組んでいく。

(池田(三)委員)

観光振興のためには広域での動きが必要だと考え、高幡5市町の首長での議論を進めている。県の協力を得ながら、組織づくりも含めて広域観光の取り組みを進めていく。

(3) 産業成長戦略について

(移住促進の取り組みについて)

(玉川委員)

せっかく移住してきても、想定と現実のギャップが大きく、帰ってしまう移住者もいる。移住希望者には、地域の厳しい側面も事前に伝える必要があるのではないか。

(移住促進課 保積チーフ)

県の移住促進・人材確保センターに移住・交流コンシェルジュを配置して移住希望者の要望を聞いており、要望内容によっては高知県以外の地域を紹介することもある。

高知のいいところも悪いところも素直に見せて、それでも高知で志を持って働きたい、住んでみたいという方を支援していきたい。

(中尾委員)

人が減っている中山間地域に人を誘導できるような住宅政策に取り組む必要がある。町営住宅を中山間地域に整備するというような住宅を使った地域への誘導は、担い手の確保にもつながる。そのような取り組みをしていかなくは、産業振興計画の担い手がなくなってしまう。

(観光振興の取り組みについて)

(武田委員)

広域の観光地域づくりをマネジメントできる専門人材とはどのような人材か。

(観光政策課 奥田企画監)

県版の地域おこし協力隊制度を活用し、県が広域観光組織に委託して雇用する人材。体験、地域の食、生活文化、宿泊など様々なものを組み合わせ、滞在時間を延長できる企画・提案をしたり、関係者との調整を行うといった人材を想定している。

(以上)